



令和6年4月号

< 4月の予定 >

木曜日 4日	17:00~19:00 (全員: 駒場体育館剣道場)
11日、18日、25日	17:00~19:00 (全員: 針ヶ谷小学校体育館)
土曜日 6日、13日	15:00~17:00 (全員: 駒場体育館剣道場)
	17:00~19:00 (錬成部: 本太中学校修道館)
20日、27日	15:00~17:00 (全員: 本太中学校修道館)
	17:00~19:00 (錬成部: 本太中学校修道館)
■6日(土)	15:30~16:30 剣道教室受付② (駒場体育館会議室)
■13日(土)	15:30~16:30 剣道教室受付③ (駒場体育館会議室)
■13日(土)	一級審査会 (大宮武道館、3名受審予定)

< 5月の予定 >

木曜日 全て	17:00~19:00 (全員: 針ヶ谷小学校体育館)
土曜日 4日	祝日のため稽古無し
11日、18日、25日	15:00~17:00 (全員: 駒場体育館剣道場)
	17:00~19:00 (錬成部: 本太中学校修道館)
■11日(土)	15:15~16:15 定期総会 (駒場体育館会議室)

< 6月の予定 >

木曜日 全て	17:00~19:00 (全員: 針ヶ谷小学校体育館)
土曜日 1日、8日、15日、22日	15:00~17:00 (全員: 駒場体育館剣道場)
	17:00~19:00 (錬成部: 本太中学校修道館)
■29日(土)	浦和剣道大会 (サイデン化学アリーナ)

【剣道教室】

場所: 駒場体育館剣道場 13:00~15:00
5月11日、18日、25日、6月1日、8日、15日 (全6回)

※状況により中止や稽古場所が変更になることがあります。詳細は随時、Slackにてご確認下さい。



本荘先生からのお言葉

4月になり新しい年度を迎えました。勤務地が学校であるからか、毎年この時期は身が引き締まる緊張感を覚えます。新たな教職員と新入生との出会いに胸を膨らませながら、良いスタートをきりたいと思います。

さて、駒剣も新たなスタートとなります。卒業生がいなかったためメンバーの変更はありませんが、岩滝キャプテン、小野塚、工藤副キャプテンとなり気持ち新たに取り組んでいきましょう。3人が中心となるのは引き続きです。最上級生を2年続けるというのは初めてのことです。この1年で6年生がさらにどれだけ伸びるか楽しみが大きいですが、長期にわたって責任ある立場にいると間延びするというか疲れてしまうことがあるかもしれません。6年生みんなでどんな駒剣にしていきたいか話をして、同じ目標をもって進めていけると良いですね。すでに1年の経験を積んでいるのでできると思います。5年生以下を含めた全員の成長に期待しています。



3月30日(土)に行われた月例試合を見て、小学生一人一人が剣道に正面から向き合ってくれていると感じました。もちろん、現段階でやる気満々の子とそうでもない子、技などの覚えの早い子とそうでない子がいます。私自身、小学生の時いやいや稽古していたのでそういうところはすぐにわかります。稽古終わりに保護者の方をお願いしましたが、勝った負けたでお子さんを評価せず、良くなった点を見つけて話してあげてください。伸びる時期は個人差があります。他人と比べず長い目で見てあげてください。剣道は一生できるものであり、一生をかけて精進して学ぶものにとらえてください。

初級者組のタスキが取れました。初心者マーク返上です。力をつけたことを認めたわけですが、それは今まで防具組だったメンバーと同等に扱うということでもあります。面を早くつけないと迷惑になりますし、稽古途中で何度も紐がほどけるようなことも困ります。心がけてください。

『令和6年度駒剣剣道教室』が近づいてきました。役員さんが着々と準備を進めてくださり、ポスターを貼ったりチラシを配ったりと動いてくださっています。昨年度同様、多くの参加者が来てくれて充実した教室ができるといいですね。今年度は、山田先生と長谷部先生に指導をお願いし、引き続き錬成部の先生方にもお手伝いいただきます。5月11日から6月15日までの6回の土曜日、午後1時から3時で駒場体育館の剣道場での開催となります。小学生の皆さんは3時前あたりの入れ替えの時に教室生や保護者に会うことになります。剣道をするとういう子供になるか、その見本となるのが皆さんです。しっかりとあいさつをするともに礼儀正しく道場に入ってきてください。

この時期は、稽古をするのに最高の季節となります。「交剣知愛」気持ちの入った稽古をしていきましょう。

太郎の百錬自得



117回

2024年4月

今年は寒の戻りで桜の開花が遅れるという近年珍しい年ですね。ただ本太中の桜は毎年早く咲きますので、先週錬成部の稽古の合間に花見ができました。

私事ですが、4月から環境が変わり、しばらく木曜指導に入れなくなります。師範の本荘先生、山田先生、そして錬成部の皆様にもご迷惑をおかけしますし、平日小学生のみんなと稽古できないのも寂しいのですが、こればかりは仕方ありません。また木曜に時間作れるようになったら、稽古よろしく願います。一方剣道教室は、1.3.5回と指導に入る予定です。新しい体験者が楽しく剣道を経験できて、ひとりでも多くが入会につながるように頑張りたいと思います。

さて、今回は我慢について考えてみたいと思います。

よく「もっと我慢しよう!」とか言われませんか?技を出すタイミングが早いよ、とか、そこで崩れたり退いたりしないんだ、とか、そういう意味合いでよく使われます。私はこの我慢、間違いじゃないのですが、一方我慢している時点で負けているとも思っています。

剣道で一本を取るまでの流れは、大体以下です。

つくり→入り→乗り→崩し→打ち

「つくり」は自分の構えをしっかりと作ること、「入り」は間合いを詰めること、「乗り」とは相手に上から圧力をかけること、「崩し」とはその圧力でもって相手が崩れること、「打ち」とは文字通りの打突になります。

この過程をまず覚えましょう。

そして相手より先にやるのは「つくり」「入り」「乗り」です。逆に相手より先にやっちゃいけないのは、「崩れ」「打ち」です。

ここで我慢に戻ります。この5つの流れのなかで、どういうときに我慢になりますか?

相手が早く「つくり」「入り」「乗り」をしてくると、こちらは我慢しなきゃいけないのです。我慢が限界になると、「崩れて」「打たれて」しまいます。そういう意味で我慢はいつもいいわけではありません。主導権を握っているときは我慢なんかしないですから。

ただ互角以上の相手になると、我慢のし合いになりますよね。お互い早く仕掛けようと思っても同じタイミングとなると、我慢比べになります。この我慢比べを制するのは、稽古量、そしてどれだけ剣道のことを考えているか、になってきます。

まとめてしまうと、

- 剣道は攻めを常に相手より先にしていけば、相手が我慢することになるから有利である。
- 互角同士で我慢比べになったら、普段の稽古量などが勝負を決める。

ということでしょうか。

なにはともあれ、新年度もよろしくお願い申し上げます。



新ジャイアンのはなうた♪



よっ！ みんな、元気か？

いよいよ新年度がはじまったな。みんな、一学年ずつ進級したぞ。3月31日と4月1日は、1日しか変わらないけど、一晩寝ると、ぜんぜん違って、ちょっと成長したような気がするの、なんか、おもしろいな。どこか、変わったかな？

ところで、剣道のレベルも、同じようなものって知っていたかな？毎日、毎回、稽古することで、だんだんうまくなっていくって思うかもしれないけど、そうでもないんだよな。逆に、毎回、一生けんめい稽古しているけど、なんだか上達していないような気がするという人も多いんじゃないかな？

でも、一生けんめいやっていると、ある日突然、いままでできなかったことができるようになっていたり、面や小手、胴が、上手に打っているようになっていたりするんだ。ほんと、不思議だよな。

え？何が言いたいのかって？

ジャイアンが言いたいのは、①いくら一生けんめい稽古したって、その効果は、すぐに出ないってことと、②一生けんめいやってれば、いつか、急に効果がでることなんだ。だから、一生けんめいやっているのに、なかなかうまにならないな、なんて思って、やる気がなくなっちゃうような人がいたら、それは、間違っているぞ。一生けんめいやってればある日突然、「ぐん」とうまくなるから、それを楽しみに、がんばってくれよな。

でも、それだと、自分が本当にうまくなるのか、今やっている稽古が間違っていないか、わからないよな。確かに、間違った稽古をしていると、うまくなるものも、うまにならないよな。そういう時の目安になるのが、先生方の「教え」なんだよな。先生方は、みんなに、いろいろと声をかけたり、アドバイスしてくれたり、やって見せてくれたり、ほめたり、逆に注意してくれたりしてくれるよな。そのことはそのことでありがたいことなんだけど、この機会に、先生方がなんで声をかけてくれたか、考えるようにしてほしいんだ。そうすると、「いい感じにすすんでいるから、この調子でがんばれば、もうすぐ良い結果がでるぞ。だから、自分を信じてがんばれ。」とか、「ちょっと、稽古の方向がまちがっているようだぞ。今なおせば、正しい道にもどって結果を出すことができるようになるぞ。」とか、先生方が、本当にみんなに伝えたいことがわかってくるんじゃないかな。

今回は、ちょっとむつかしいはなしだったかな。ジャイアンらしくないって？たまには、むつかしいはなしをししないと、いつまでも、成長しないって言われちゃうからな。

ところでジャイアンってマンガだと小学4年生、アニメだと小学5年生って知ってた？

では、ここで、問題です。駒剣のジャイアンは何歳でしょうか？

正解した人には、何かあげようかな。

じゃあ、またな！



浦和少年剣道錬成会

3月9日（土）にサイデン化学アリーナにて浦和少年剣道錬成会が開催されました。7人でのリーグ戦（6人リーグもあり）を4回行い、合計20試合以上も試合ができました。

岩滝さんは6年生だらけの第1コートまで勝ち進み大健闘でした。緑たすきの駒剣士も多数参加してくれて、立派に試合をしてきました。防具組の駒剣士もたくさん勝ったり負けたり、大変良い経験になったと思います。

錬成会の感想、次からのお稽古で頑張りたいこと、教えてもらいたいことなど、たくさん話をしてくれました。この時の気持ちを忘れずに、これからのお稽古を頑張りましょう！

5年生

小野塚 朔哉	良かった点は自分から技をだせたこと、練習してきたあい面や出小手で一本とれたことです。反省点は勝ちきれない試合があったこと、フェイントの時に手元が上がってしまうこと、フェイントばかりで自分から打てないときもあったことです。
岩滝 愛乃	1コートまでいけて良かったです。1日で20試合以上出来ていい経験になりました。同じ技ばかりでせっかく練習した技を打つことが出来ませんでした。これからの試合ではもっといろいろな技を出せるように頑張ります。先生方、保護者の皆さま、ありがとうございました。
佐藤 柚貴	1回目のリーグは第8会場から始まりました。面がタイミングよく決まり、5勝1分で1位になることができて、第6会場に進みました。2回目のリーグでは3位で、そのままでした。3回目は5位でギリギリ落ちずに済みました。4回目のリーグでは、6年生もいましたが、返し胴を何本か決めることもできて、結果第6会場の3位で終えることができました。良かったことは、返し胴で一本取れたことです。がんばりたいことは、一本を取るために、相手をうまくくずすことと、試合で連続技を出すことです。
葛西 しずく	前半はずっと7位で、10コートまで下がってしまいましたが、10コート目からは以前よりもっと気合を出して試合にのぞみました。気合をわすれず試合に挑んだ結果3勝することができました。次の試合では、初めから気合を出して、相手をこわがらず打ちかえるような強い選手になることを目指したいです。そのために試合の時以外にも、意識してけい古にのぞみたいと思います。

佐藤 優元	錬成会では色々な人と試合ができて楽しかったし、勉強になりました。これからの稽古ではその試合で感じたことや、もっとこうした方がいいと思ったことを活かして頑張りたいです。
齋藤 侃 ★緑たすき	初めての錬成会で、いろんな戦い方の人と対戦して、とても勉強になりました。これからの稽古では、たくさんの方の応用技を教えてください、その技を使えるようになりたいです。
佐久間 慶 ★緑たすき	楽しかったけど少し緊張しました。当てられはしたけど抜けられなくて一本にならなかったの、今度は前に行って一本取りたいです。

4年生

海江田 瑛勇	ほとんど負けてしまった。なかなか練習通りに1本が取れなかった。午後からは下のコートに行ったら勝てるようになったけど、上がれなかったから悔しかった。次は上がりたい。 相面の場面が多かったのもっと教えて欲しいです。強い子は打つ速さが違った。打つ速さも早くしたいです。今回は24試合させてもらった。他の団体の人とこんなに試合できることは今まで無かったので嬉しかった。次は上がって行けるようがんばります。
高見 渚	最初はあまり動けず打てなかったけど14コートに入ってからたくさん動いて面を打って勝つことができました。他の剣友会と対戦して、素早く打たれて対応できなかったのもっと返し技を打ちたいです。 次からの稽古ではもっと練習して基本打ちの精度を上げ、返し技を得意技にしたいです。
酒井 健汰	強い相手と試合した時に一本取れたら守りに入っちゃうから、次からは二本目も攻められるような稽古をしていきたいです。
出口 智尋	色々な人とたくさん試合ができてよかったです。 最初は14コートで次に13コートまでしか行けなくて、最後の目標は8コートだったので悔しかったです。 来年はもっと上のコートまで行けるようにいっぱい稽古して頑張りたいです。
江刺家 健太	錬成会では、負けたり勝ったりしたので、次はもっと勝てるよう、先生に返し胴を教えてくださいたいです。
柏 佳吾 ★緑たすき	全然勝てなかったけど、たくさんの方と試合ができて楽しかったです。まだ体力をつけられてなく、疲れて面を打たれてしまったので、今度は勝てるようにもっと体力をつけたいです。試合中足捌きを忘れてしまうことがあったので、しっかり忘れないようにしたいです。面の上げ下げの位置や、胴をするときの動きを上手になりたいです。

<p>永井 恒太郎 ★緑たすき</p>	<p>駒剣以外の人が強くて、打たれすぎて悔しかったけど、打ち返したりするのは楽しかった。ただ、自分より小さい子に負けまくったときには、おとなしく勝たせろと思った。先生から残心をつけるようにとアドバイスされたから、残心をつけたいけど、どうやったらうまく残心をつけて、一本を取れるようになるのかわからないから教えてほしい。</p>
-------------------------	---

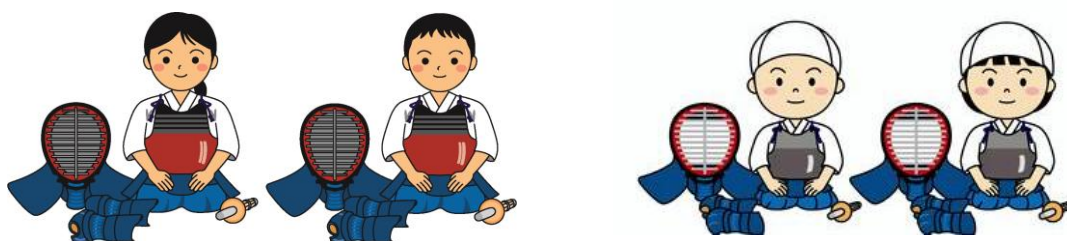
3年生

<p>山下 祐生 ★緑たすき</p>	<p>試合が始まる前は、絶対に勝てるって思ってたけど、一度も勝てなくて「案外勝てないな…」と悔しいまま午前中の試合が終わりました。お昼の休憩で気力が戻ってきて、午後の試合は「午前中の試合では打たれてばかりだったけど、午後は反撃しよう！」と思って、防御も攻撃も今までの稽古を思い出して頑張りました。そうしたら、2試合だけど勝つことができたので嬉しかったです。</p> <p>これからも今日の試合を忘れないで、今日以上の防御と攻撃ができるように励んでいきたいです。</p> <p>今日は、最初全然上手くできなかったけど、だんだん相手の動きがわかってきて、試合を自分のペースで進められるようになってきました。</p> <p>これからは、自分が試合をしていない時でも、相手をしっかり見てイメージをもちながらしっかり見取り稽古をしたいです。先生達に特に教えもらいたいことは、胴の防ぎ方を教えてもらいたいです。地稽古をもっとやって、相手の際を見つけられるようになって、そこを狙って打ち込めるようになりたいです。</p> <p>勝つ男、山下祐生になります！今日はありがとうございました。</p>
<p>吉田 陽 ★緑たすき</p>	<p>長い1日だったと思いますが、本人はなぜ1本にならないのか分からなかったようです。</p> <p>相手から受けた後の返し技や、面の打ち方、など、基本は振りかぶって打つのが、試合だと振りかぶると相手に読まれてしまうため、基本と試合は違うのかが、しりたいようでした。</p>

2年生

<p>室井 香凜</p>	<p>朝おきてからし合が始まるまではワクワクしていました、たくさんの方がいたけどきんちょうはなかったです。</p> <p>し合が始まると思うようにうてず、イライラしてしまいいやな気持ちになりました。</p> <p>うまく言葉にできないけど、とにかくいやだった。</p> <p>お昼を食べてからは、せめて行けば何か入るかなと思い、前に出ることを考えました。</p> <p>めんが入りととてもうれしかった、でもつかれてしまいました。</p> <p>来年はたくさんかちたいです。</p>
--------------	--

<p>瀬瀬 大晴 ★緑たすき</p>	<p>何回も試合ができて楽しかったです。強い選手はとんでもなく面が速くてビックリしました。自分も同じような速い面が打てるようになりたいと思いました。次からのお稽古では、もっと声を出すこと、打った後に抜けることを頑張りたいです。教えてもらいたいことは、速く面を打つ方法と連続技です。気になった選手は、埼玉田島剣友会の134番の選手です（面打ちのスピードが速く強かったから）。</p> <p>次戦うことになったら絶対勝ちたいです。</p>
<p>近藤 蒼志 ★緑たすき</p>	<p>①感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合に8回勝つことが出来て嬉しかった ・胴で決めることが出来て良かった ・小手で決めることが出来なくて悔しかった ・試合では相手の隙を見つけて決められることができた <p>②頑張りたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小手打ち ・基本打ち ・踏み込み足 ・小手抜き面 <p>③教えてもらいたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技の使い分け方 ・小手打ちのタイミング
<p>新井田 斗真 ★緑たすき</p>	<p>初めて試合をして緊張しました。一本面が打ててうれしかったです。お稽古をがんばって、試合で勝てるようになりたいです。</p>
<p>鰐川 義彬 ★緑たすき</p>	<p>20し合をやってつかれたけど、20し合もできて楽しかったし、少しレベルアップした気もするので、よかったです。</p> <p>ぼくの目ひょうは、声を出すことと、まっすぐうつことでした。でもし合にむちゅうになって、どっちもできませんでした。なので、つぎはし合のことばかり考えないで、ちゃんと声を出してまっすぐうつことをがんばります。</p> <p>けいこで教わりたいことは、切りかえしどうと、うらはらいめんのこつです。理由は、切りかえしどうは、お父さんがいいれんしゅうだと言っていたし、やってみたいからです。うらはらいめんは、ぼくは上手にできていなくて、上手にできるようになりたいからです。</p>



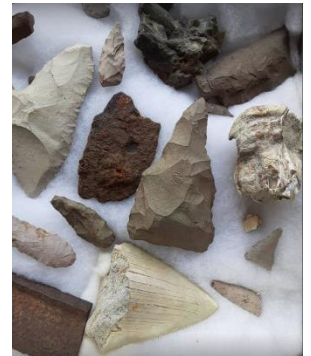
大人の“ペンリレー”

錬成部、後援部 葛西 祐規さん

佐藤利幸さんからバトンを引き継いだ、令和5年度後援部長の葛西です。佐藤さんのように昆虫など1つのテーマでページを語りつくすことは難しいので、身の回りのことをいろいろご紹介しようと思います。現在の仕事はフランスの会社の日本支社でマーケティングの仕事をしています。中でも私の仕事は商品の企画や広告宣伝などです。技術者・デザイナーなど色んな方と一緒に物を作ったり、売れるように考えたりする楽しい仕事です。

幼少期～太古のロマンに憧れて

さて、生まれは岩手県の平泉町というところでは、観光地で訪れたことがある方もいらっしゃるかもしれません。私の実家は周りを川で囲まれた土地で、川の音の響きに合わせて虫や鳥の音が夜通し聞こえるような贅沢なほど自然あふれる場所でした。そういう土地で近所の家もまばらでしたから、私は子どもの頃から1人で黙々と好きなことに興じる方で、小学生くらいから家の周りで取れる化石や、大昔の石器（石で作った道具）・土器（粘土を焼いた器）などを拾い集めるのが趣味になりました。それが高じて大学は歴史を勉強しました。本当は博物館で古いものに囲まれて仕事がしたかったのですが、それは在学中に断念しました。でも今からでもまだ可能性あるかも、なんてたまに思ったりします。どなたか博物館関係の方で人材募集されていたら教えてください。



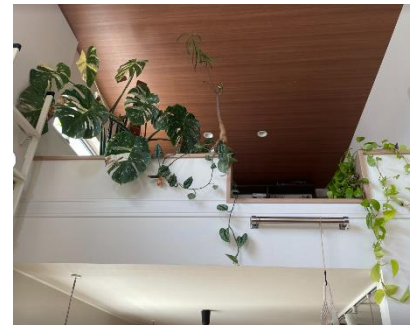
石器類や化石類（実家周辺にて）

現在～植物たちに囲まれて

趣味は一度手を付けたことは地道に続けるのだけは得意なので、上手いか下手かは別にして（剣道も!?) 様々なことに興味を持ちます。例えば植物を育てること。きっかけは上の娘はずくが生まれる時に、子どものそばに居ながらできる趣味は無いかと探した時に、埼玉は園芸と盆栽が盛んだということを知り、ベランダで盆栽を始めたことです。そこから観葉植物、多肉植物など家の中と外にあふれてきました。バレないように少し



玄関前の鉢植えたち

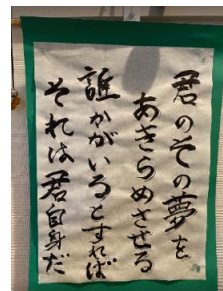


植物が支配するロフトスペース

ずつ種類を増やすのが家族の理解を得るためのコツです（得ていない？）。今のお気に入りには室内だと斑入りのモンステラ（約5年）、屋外だとディッキア（半年）です。

AI時代に敢えて手書き、はじめました。

それと、筆書きでちょっとした格言みたいなのを書くのが最近増えた趣味の一つです。内容は自分で考えたり、著名人の発言だったり様々です。手書きの文字にはWordなどの打ち込み文字にはないその人の思いや人柄のようなものがにじみ出るのが良いと思います。書道は小学生で断念しており、書体は自己流で味が出るようにしている程度なので書の出来る方には拙いものに見えるかと思いますが、味わいということでご容赦ください。



お寺の掲示板みたい、という声も

DIY 発明王に俺はなる！

DIY（主に木工）も簡単なものを少しだけ。生活しているところにこういう収納が欲しいな、と急に思い立ったりします。自宅の形や空きスペースを自由にアレンジできるのが魅力です。多少不格好でも、それはそれで味になりますし、失敗しないと上手くならないのは何ごととも同じですよ。最近うまく出来たのは、ソファのサイドテーブルの下にぴったりの大きさに作った本の収納「エミルくん（写真）」なのですが、家族がたくさん本を詰め込みすぎて、



中身が見える本の収納『エミルくん』キャスター付きです

この原稿を書いている期間中に少し壊れて現在修理中です（※実はこの写真でどこがこの後に壊れるかヒントになっています。DIY好きの方は当ててみてください）。あと、駒剣で最近使っていただいている試合の開始線のテープの貼り位置を測るための器具、通称「開始線ヒケ〜」も私が作りました。コンパクトにたためるのがこだわりポイントです。

アウトドアもたしなむ程度に

自分で火を起こしたり、ダイナミックに料理をしたりと不便を楽しみながら手間をかけて過ごすのがアウトドアの醍醐味（だいごみ）ですね。特にキャンプはいろいろな道具を試したりするのも好きで家族と年に数回キャンプに行きます。最近上手くいったのが焼きイモの面金焼き（めんがねやき）です。焼きイモをたき火にそのまま突っ込むとどうしても火加減が強すぎて焦がしがちですが、ちょうど中古の面金（剣道の面についてるあの金属のアミ部分です）が手に入ったので、その内側に乗せてから火に入れたら、ちょうど良く焼けました。おいしい焼きイモ一本！です。面金も炎の熱で写真のようにいい感じのコゲ感が出てオブジェとしてもカッコいいです。※本来の面金の使い方ではないので良い子・良い大人は真似しないでください。



コゲ目のついた面金

それと、剣道について

さて最後になりますが（なんでやねん）、剣道は小学6年生でスポーツ少年団に入ったのが最初で、岩手県にいる時に中学・高校と部活を続けました。社会人になってからも、マイペースではあるものの住んでいる町の道場などに入れてもらって細々と剣道は続けてきました。でも子どもが生まれてからは少し剣道から離れていました。上のしずくが小学生になり、駒剣との出会いがあって、子どもと一緒に私も剣道を再開できたのはとても幸せなことです。剣道の好きなところは、人の縁がどんどんつながっていくことです。少し変わった事例ですが、10年ほど前、一人のフランス人剣士と知り合いました（写真・右）。彼はいつも長期休暇をとっては来日して日本全国の道場を訪ねあるいは武者修行して帰る強者（つわもの）です。彼は「二刀」という珍しい構えを得意としていて、対決すると大小2本の竹刀でめちゃくちゃ

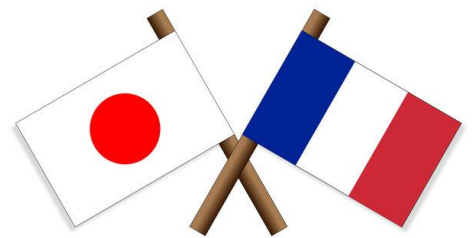


※約10年前。私も今と少し髪型が違います

や打たれます（笑）。一度仕事でフランスを訪れる機会があったときに、パリ郊外で彼の主催する剣友会にお邪魔して稽古したことがあります。剣道が生んだ縁で遠くの異国の地でも稽古できたことはとても良い思い出です。最近彼も子供が生まれて来日できていないようですが、いつか駒剣に連れて来たいと思っています。

話があちこちに飛びましたが、もし少しでも趣味が近い方、興味を持たれた方はぜひお声がけください！

次号は後援部の海江田茂勇さんにバトンタッチします。



小澤さんからのもったいないご紹介によりバトンを引き継がせていただきました齊藤緑です。まずは簡単な自己紹介と剣道をはじめたきっかけのようなものを書かせていただきます。

私は埼玉県秩父市で生まれ育ちました。正確には深谷市の病院での出産で、6人兄弟の末っ子として長姉の小学校卒業式の日には2300gの未熟児で生まれました。

西武秩父駅のごく近くに家はあり、高校まで地元の学校に通っておりました。武道とは全く縁のない家で剣道というものを目にしたことは一度もありませんでした。ただ、小学校のクラスメートに剣道をされていた男子が一人いて、礼儀たたく、姿勢もよくて他の子とはどこか違うなあという印象を持っていたことはありました。そんな私が剣道を初めて目にしたのは結婚した夫の若い頃の剣道の試合をおさめたビデオ映像でした。夫は幼稚園の頃から剣道をはじめ、高校まで剣道漬けの毎日というか、剣道しかやってないという感じでした。息子が誕生し、いつか大きくなったら剣道をやらせることになるのだろうかあと漠然と私は考えていました。小学校入学を機に夫は浦和近辺の剣道の道場などを見学に戻り、どこで習わせるかを考え始めていました。そして、駒剣に息子さんを通わせておられる方との出会いもあり、小二まで待ち、剣道教室の案内を頂き、参加させていただくようになりました。稽古中ずっと見学して待っているだけではもったいないと考え、夫からの「一緒にやったら」の一言もあり、恥ずかしながらも全くの未経験で礼儀もなにもわからないまま、子どもたちに混じって大人一人私も参加させていただくようになりました。

忘れもしない初心者組が初めて防具組と合同で15時から稽古をする12月のある日、時間を間違えていつもの13時に駒体へ行き、身支度を整えた私たち親子は裸足のままアリーナ席でバスケットの練習などを観て待っていました。きっと冷えてしまったのでしょう。稽古の終わりに早素振りの号令がかかり、始めているといきなり後ろから思いっきり誰かに殴られたようなものすごい音の感覚とともに私は肉離れを起こし崩れ落ちました。入会して二か月で早速ケガをして離脱してしまいましたが、4か月ほどで復帰させていただき、今に至るまで細々と続けさせていただき10年が経ちました。息子が駒剣を卒業した春に一緒にはじめて審査（一級）を受け、そこからママさん剣士たちと励まし合いながら稽古を重ね三段に昇段させていただき現在に至っています。

昨年夏頃から更年期の症状が強くなってきて手指の不調が強くなり、握力までもがほとんどなくなってしまふようになり、もう剣道が続けられないのではと思いましたが、サプリを飲みはじめて少しずつ改善してきました。また息子の受験や家族の病などが重なり、駒剣の寒稽古にも全く参加することができないこの冬でしたが、春を迎えまた再開していきたいと願っています。

本題の前に話が長くなりましたが、私の趣味について少し書かせていただきます。とはいっても、最近では忙しく手指の不調もありほとんどできていないことなのですが、下手の横好きでさせていただいていることを紹介します。



時間とやる気がかみ合った時にしかできないことなのですが、私は編み物や繕い物（ダーニング）、刺繍、また時に YouTubeなどを参考に水彩のイラスト画を描いたりします。金属アレルギーでアクセサリがつけられなくなってきたので、かぎ針やレース編みでコサージュやブローチをいくつも作るようになりました。コロナ禍で外出の制限があった頃にはカーデガンやチュニックなどの大物を編みました。また、ダーニングマッシュルームなるものを手に入れてからはすり減った、穴の空いた靴下などいろいろなものを繕い補修しました。刺繍にも挑戦し、一昨年前にはダーニングの手法でくまの刺繍ブローチを手作りしました。ちなみに、剣道をはじめた頃から使用している私の竹刀袋も大きくほつれ破れていましたがダーニングによって繕い補修がされているものを今も使っています。



今回は、大人でもこんな風に喜ばれるのかと驚かされたのですが、修道館の女子更衣室で私の審査の結果を聞いて、飛び跳ねて喜んでくださった心素直で剣道は凛として素早く美しい岩滝晶子さんへバトンをつなぎたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



ゆるキャラコンテスト結果発表！

お待たせいたしました！たくさんの作品の中で受賞作品を発表します！なんとグランプリ（金賞）が2作品という珍しい結果でした！石井先生からの総評コメントと合わせてご覧ください。

（子供の学年は令和6年3月時点です）

※石井先生のイラストは有我すずなの「ときどきありが」からとったもので、ご本人の許可を頂いております。



金賞



「こま」小野塚咲乃さん（小5）

お道具の細かいところまで描けて、すごいです。

色も素敵で、「駒剣カラーの瞳」などがすごく良いですね！！



「こまけん（駒犬）」出口夏帆さん（中1）

とてもキュートです。手ぬぐいの使い方もナイスです。

緑の炎の形のしっぽもすばらしいです。



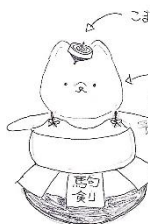
ほぼ金賞



「こま」岩滝愛乃さん（小5）

狛犬の要素を取り入れたところがすごい！

まゆ毛と巻き毛もいいですね。



「こま犬」齊藤緑さん（錬成部）

完成度がすごく高くてキュートです。このままぬいぐるみにしてクレーンゲームとかに使えるそう。「転んでも起き上がる」スピリットもいいですね。



銀賞



「声たろう」 鰐川義彬くん (小2)

声が大きいとほすばらしいですね。

主人公 (メインキャラ) のライバルにしたいです。



「こまけん武蔵」 瀨瀬大晴くん (小2)

設定がカッコいいです。ゲームのキャラクターにいいかも。



ころ

あたたまるで賞



「めんこちゃん」 鰐川絢子さん (後援部)

これからの季節、ぜひ道場においてほしいキャラクターです。母性があふれていて、心あたたまりました。



気をつけま賞



「ココロ助 兄妹」 葛西祐規さん (後援部)

とても面白い兄妹ですが、描き方によっては誰かに似てしまうので気をつけましょう (笑)。

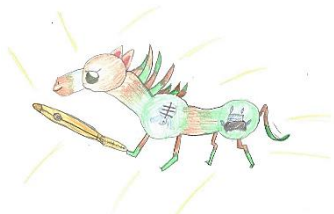


なかよし賞



「こまさぎ・けんさぎ」 葛西ひかりさん（小2）

二人、いや二匹なのがいいですね。「強」マークも素敵です。主人公と仲良くなれそう。二匹の得意技は何かな？



「こまうまくん」 葛西しずくさん（小5）

馬は描くのがむずかしいのに、すごいです。剣道が好きで、体にもよがついたとは面白いです。剣士を乗せたりするのも好きかも。



「まげ太郎」 永井恒太朗くん（小4）

とてもかわいいし、完成度高いです。ぬいぐるみにして一緒にお昼寝したいです。意外にも狩りがすきなのとまげにこだわっているのが面白いです。おむすびとからあげ好きもいいですね。



「ヌルヲ」 弘田春美さん（後援部）

とてもかわいいです。頭をなでたくなりますね。設定もいいです。たしかにかまえるのは大変そうです。



「こまちゃん」 高見渚くん（小4）

とてもかわいいです。口ぐせがあるのと、強がりところがナイスです。「たけのこ」を食べると強さが増すのかな。

次回、金賞の作品をモデルにしたオリジナルキャラクターが完成するよ！

5月号もお楽しみに！

石井のetc.日記



家で「しこふみ」練習してたころ
 (三日ボウズでした)

かぶっ!

トロ(ネコ)が私の尻を毎回みそっこやりました。



やー

!? なんて



わー

ネコからしたら

インクワット!!!



なんかもさんかんによ...!!

※三日でやめたのはネコのせいではなく単なる台詞です。

たったのかも...?

キョーフ

のぐらいの

はいい!